主題：ノア、ダニエル、ヨブ――
命の路線において勝利を得る命を生き、神のエコノミーを完成する模範

メッセージ　11

神ダニエル（4）

終わりの日に勝利を得て時代を転換させる

聖書：ダニエル 2:28．9:24-27．マタイ 24:14-15, 32-33

Ⅰ．わたしたちは、「終わりの日に起こること」を見る知恵と啓示の霊を必要とします。それは、わたしたちが準備されてキリストの花嫁の軍隊となり、神の栄光と神の王国のために時代を転換させることができるためです――ダニエル 2:28．9:1-27．創 1:26．Ⅰコリント 2:9-10．エペソ 1:17．5:25-27．6:10-20．啓 19:7-9, 13-16。

Ⅱ．ダニエル第９章24節から27節の七十週の預言は、主の来臨の日がとても近いことを見せています。七十週は三つの部分に分けられ、各週の長さは七年です：

Ａ．第一に、七週（四十九年）は、勅令の発布からエルサレムを復興し再建して（ネヘミヤ 2:1-8）再建を完了する時までです。

Ｂ．第二に、六十二週（四百三十四年）は、エルサレムの再建の完了からメシアを断つ時（十字架）までです――ダニエル 9:26。

Ｃ．第三に、七年の最後の週は、反キリストがイスラエルの民と堅い契約を結ぶ時です（27 節）。その週の半ばに、彼はその契約を破り、神に対するイスラエルの犠牲とささげ物をやめさせ、神を畏れる者たちを迫害します（27 節．啓 12:13-17）。それは大患難の始まりであり、大患難は三年半続くでしょう。

Ｄ．七十週の初めの六十九週と最後の週の間に不明の溝があります。この溝は奥義の時代、恵みの時代、召会の時代です――エペソ 3:3-11．5:32．コロサイ 1:27：

１．この時代の間にキリストは密かに奥義的に新創造の中の召会を建造し、彼のからだまた彼の花嫁とならせます――エペソ 5:25-32．参照、マタイ 24:32-33．Ⅱテサロニケ 2:3-4。

２．七十週の最後の週の終わりに、キリストと彼の勝利者たち、彼の花嫁の軍隊は、打つ石として来て、人の行政の総合計を打ち砕き、大きな山、神の王国となって全地を満たします――ダニエル 2:34-35．Ⅱテサロニケ 2:8．啓 19:19-20。

Ⅲ．主の勝利者となって次の時代をもたらすためには、夜が明けて明けの明星がわたしたちの心に昇るまで、預言の言葉を、暗い所に輝くともし火として、よくよく心にとめている必要があります――Ⅱペテロ 1:19。

Ⅳ．わたしたちが持つすべての「今日」は、真に主の恵みです。ですから、わたしたちに今日がある限り、わたしたちがなおも息をしている限り、主と主の出現を愛し、主の来臨を待ち望み、常に彼の来臨を励ましとすべきです――Ⅱテモテ 4:1，6-8．ルカ 12:16-20。

Ⅴ．主は来るとき、彼を愛する者に盗人のように密かに来て、彼らをご自身の宝として盗み去り、天における彼の臨在の中にもたらします。ですから、わたしたちは目を覚まし、自らを用意して彼の花嫁となる必要があります――ダニエル 10:19．マタイ

24:42-44．25:13．啓 19:7．22:20：

A．わたしたちは真のナジル人としてのキリストにある神の中へと絶対的な献身を持って、彼の反・証し、すなわち、イエスの証しからそらすどのようなものにも反対する証しとならなければなりません――民 6:1-8．ダニエル 1:8．啓 2:13。

B．わたしたちは神の聖なる言葉で再構成されて、わたしたちの生活の終日、聖書を読まなければなりません――Ⅰテモテ 4:6．コロサイ 3:16．申 17:18-20：

1．わたしたちは言葉を思い巡らし、神の息としての神の言葉を享受する必要があります。「思い巡らす」のヘブル語は、礼拝する、自らと談話する、大声で語ることを暗示します――詩 119:15-16．Ⅱテモテ 3:16-17。

2．言葉を思い巡らすとは、注意深く考察することによってそれを味わい享受することです。祈り、自らに語り、主を賛美することも、言葉を思い巡らすことに含まれます。

C．わたしたちはうまずたゆまず祈って神に栄光を帰し、神に感謝し、神を礼拝し、神に仕える必要があります。わたしたちの祈りとわたしたちの存在は、完全に神の権益のためであるべきです――ダニエル 6:10．9:17．列王上 8:48．参照、ローマ 1:21, 25。

D．わたしたちは、他の人のためにご自身を犠牲にする方としてのキリストとの一の中で、自らを犠牲にする人となる必要があります。わたしたちはただ一つの事、すなわち、神を怒らせ彼の臨在を失うことを恐れるべきです――ピリピ 1:22-26．Ⅱコリント 1:24．詩 27:4。

E．円熟に達することは、一晩の事柄ではありません。ですから、彼の到来のために、わたしたちは自らを準備し、彼を愛し、彼の中で成長して、彼の出現の時に、円熟して携え上げられ、褒賞を受けるようにならなければなりません――ルカ 21:34-36．参照、啓 3:10．12:5-6, 14。

F．わたしたちは生活の中で毎日、一日中目を覚まして余分の油を買い、奉仕において忠信であって主の民を適切な時に養わなければなりません――マタイ 24:32-25:30：

1．わたしたちは祈りの生活のために目を覚まし、警戒して、その霊によって歩き、その霊へとまき、その霊を供給しなければなりません――エペソ 6:17-18．コロサイ 4:2．ガラテヤ 5:16, 25．ローマ 8:4．ガラテヤ 6:8．Ⅱコリント 3:6．ローマ 1:9。

2．わたしたちは、自分の奴隷仲間を打ちたたき、酔っ払いどもと食べたり飲んだりしたり、主の賜物を埋めたりする者となってはなりません。むしろ、王国の福音の真理を、人の住む全地に拡げなければなりません――マタイ 24:14-15，45-51．25:25．ダニエル 11:32。

G．わたしたちは主の忍耐についての言葉を守り、サタンの疲れ果てさせる策略に抵抗して立たなければなりません――啓 3:10．ダニエル 7:25：

1．神の天的支配の下で、キリストを第一位とするために、すべてが共に働いて益となります―― 4:26．ローマ 8:28-29。

2．わたしたちは主の支配する臨在の限度、制限、権威の下にとどまって、主を知り、高慢から救われ、恵みの分与を受けなければなりません――啓 22:1-2 前半．エレミヤ 9:23-25．Ⅰペテロ 5:5。

©2005 Living Stream Ministry